

2023年度 学校関係者評価報告書

2024年6月21日

学校関係者評価委員会
ホンダテクニカルカレッジ関西

■ 学校関係者評価

学校関係者評価とは、学校の自己評価の客観性・透明性を高め、学校と密接に関係する者の理解促進、連携協力による学校運営の改善を図ることを目的としています。具体的には、学校が策定した重点目標、計画の実施について自己評価を行い、その結果を踏まえ、今後の取組方針などについて、学校が選定した学校関係者評価委員に説明し、教育活動、学校運営等に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言、評価等を頂くことで学校改善につなげることを目指しています。

■ 学校関係者評価委員会 開催概要

開催日時： 第1回 2024年6月21日 2023年度 自己評価に基づく関係者評価
 第2回 2024年11月21日 開催予定

開催場所： ホンダ テクニカル カレッジ 関西

委員長： 木村 一年 様 本田技研工業株式会社 コーポレート管理本部人事統括部労政部国内営業人事労政課 主事
委員： 水口 和明 様 株式会社ホンダモビリティ近畿 取締役 管理本部 本部長 コンプライアンスオフィサー
 河井 政昭 様 株式会社ホンダ泉州販売 サービス部 部長
 松本 貴幸 様 ホンダ テクニカル カレッジ 関西 後援会 会長

学校側 五月女 浩 校長
出席者： 田中 直樹 教頭 兼 学務室 室長（本委員会事務局）
 寺尾 典篤 教務部 部長
 神通 邦彦 教務部 一級自動車研究開発学科 科長
 白石 拓三 教務部 自動車整備科 科長
 後藤 俊介 教務部 自動車整備留学生科 科長

■ 評価プロセス (第一回委員会)

- 委員会開催前に学校側より委員の方々に2023年度自己評価書をお送りし、ご意見・ご質問をいただきました。
- 委員会では、学校側より学園概要、教育内容、2024年度の重点課題、重点目標を説明し、まず委員会での課題共有を図りました
- その後、2023年度自己評価書の内容説明及び事前にいただきましたご意見・ご質問への回答・コメントをさせていただき、質疑応答を通して意見交換を行い、更に詳細に課題認識を深めました。
- そして、学校関係者評価委員会としてこの最終評価をまとめました。以下に、基準ごとの評価結果を報告致します。

■ 評価結果

基準 1 : 教育理念・目的・育成人材像等

- 「永続的かつ安定的な学校経営基盤の構築」を図るうえで、入学者数の確保については確実な施策の推進と進捗管理をお願いします。
- 車・バイクのインフルエンサーとして、また、ユーザーとして「ユーザー目線」で魅力を捉えて活躍できるようになってほしい。
- 先進技術への対応とHondaらしいチャレンジ精神に溢れた人間性の育成をお願いします。

基準 2 : 学校運営

- 今後もコロナ禍のような感染症リスクが発生することを想定したICT環境の強化は必要であると認識します。
- 学事システムの改善は2期連続した課題提起が行われており、その課題改善に向けた推進を加速して下さい。

基準 3：教育活動

- 近年のディーラー整備士は単に整備知識や技術力だけではなく、受付や払出などの場合に顧客ニーズの確認や丁寧な説明が求められる場面があります。インターンシップ等で体感することはできると考えますが、学園での教育カリキュラムの中にもそのような想定に基づく授業や模擬演習などがあるのでしょうか。
- メーカー校の特色を活かし、急速に進む電動化に対応した技術者の育成をお願いします。
- ホンダ関連企業入社の為の「社員教育施設」とならない様に、広く自動車・二輪車業界の担い手を育てる教育を望みます。
- 企業が求める人材ニーズのレベルは高くなっているのも現実です。主要資格の取得率は高い実績を継続していますが、その背景には、教職員一人ひとりの責任や使命感にもよるところがあると認識しますので、ICT環境の強化等と連携した負荷軽減策の推進をお願いします。

基準 4：教育成果

- 早期内定を確保するためにも、自動車運転免許の取得推進については就職活動より前倒して推進いただくと雇用側としても大変ありがたいです。
- 車・バイク系の部活動が活発であれば、授業で学んでいる内容や国家資格の必要性など、「車・バイクのプロ」としての自覚が芽生え、教育成果も上がるのではないかと思います。
- 資格取得については高い合格率であり、引続き100%合格に向け、推進をお願いします。
- 学生の思考や環境が変化しているのも事実であるため、学生とのコミュニケーションの充実や個々の状況把握をお願いします。

基準 5：学生支援

- 他の業界への転職の理由でよく聞かれるのが、「将来の生活面での不安」で、現実的に問題であると思います。就職先企業の課題でもあるかと思いますが、卒業後「思っていた世界と違う」とならない様に、在校生への指導をお願いします。
- 留学生の経済的支援については更に踏み込んだ施策が企業側としても必要だと感じています。
- 他校の寮の有無・寮費の比較についても調べていただき、課題があれば対応策をご検討いただきたい。

基準 6：教育環境

- 近畿圏の整備士養成校と比較しても設備や環境の優位性は相当高いと感じています。引き続き環境整備にご尽力いただくとともに、現役高校生などへの更なるアピールにより学校選択の大きな要素となるようお願いいたします。
- 教育環境は十分に整備されていると認識しますが、海外研修制度の再開見通しについて教えて下さい。
- 今後もHondaグループの強みを活かし、企業と連携し、より良いプログラムへさらなる進化をお願いします。

基準 7：学生募集と受け入れ

- 企業推薦、奨学金などの制度をさらに活用し、弊社従業員家族はもとよりお客様への積極的なPRを進めてまいります。
- 自動車・二輪車系専門学校として車・バイク系の部活動が活発で、課外活動において成果を残すことが出来れば、当校のPR効果は高まると思います。
- 幼少期での自動車との触れ合いは将来必ず業界にプラスとなると信じており、素晴らしい取り組みです。引き続き積極的な活動をお願いします。
- ターゲットとなる学生に対する訴求活動では、ポップな学校案内の制作やSNSを活用した情報発信等を継続され、Z世代に響く情報の配信を行うことで、今年度の学生募集計画の必達を期待します。

基準 8 : 財務

ご意見・ご提言は御座いませんでしたが、更なる発展に向け今後共、引き続き取組んで参ります

基準 9 : 法令等の遵守

ご意見・ご提言は御座いませんでしたが、更なる発展に向け今後共、引き続き取組んで参ります

基準 10 : 社会貢献

- 今後も引き続き地元の小・中・高校との連携を高めていただき、地域の子供たちからの認知度や存在感の向上にむけてお取組いただくとともに、整備士の仕事への理解と貴校での将来の学生募集にも好影響循環となるようご尽力ください。
- 学校の施設・設備を二輪車の安全運転普及活動の講習会に活用していただきたいです。また、ユーザー自身もトレーニングできる機会を望まれています。その様なトレーニングが出来る機会や場所が不足しています。ご検討ください。
- 社会人として、またメーカー校に在籍する学生として、交通四悪の撲滅に取り組む意識の醸成と活動の継続をお願いします。

その他

- 学生募集などについては業界全体としての苦戦が続いておりますが、Hondaブランドに直結するメーカー校としての優位性をもった教育事業の推進をお願いいたします。

■ まとめ

- 自己点検・自己評価報告書や委員会で学園概要、教育内容、2023年度の重点課題、重点目標などの確認を行ない、前期レビューや昨今の環境認識を含めて重点課題を明確にして取り組まれていることを確認しました。
- 今年度、重点課題としている事項への対応については確実な実績・成果に繋げるため、きめ細かな進捗管理を行なって取り組み強化をお願いします。
- 様々な施策の推進と学校運営に対し、整備士の輩出にご尽力いただき有難う御座います。リバイバルプランで提示された目標に向かって反転攻勢を仕掛けるタイミングになってきているので、新たな施策の注入・検討を含め引き続き推進を宜しくお願い致します。